

三重県言語聴覚士会主催

摂食嚥下障害に携わる介護従事者への研修会 「めざせ！！ 誤嚥性肺炎ゼロ 2018」

日本人の死亡原因の第3位となっている肺炎。死亡者の95%以上が65歳以上の高齢者で、その多くが「誤嚥(ごえん)性肺炎」。命を脅かす疾患だけに、予防することが大切です。

今回も摂食嚥下障害に関わる専門職である言語聴覚士による摂食嚥下障害の基礎知識から評価に加え、実技を交えて皆さんが日ごろ悩んでいる食形態や食事姿勢について理解を深めていきましょう。

主な研修内容

摂食嚥下障害の基礎知識
食事形態の工夫
食事姿勢

嚥下障害の評価
とろみ付き液体の活用
現場での実践(グループワーク)

日時

平成31年2月17日(日) 10:00～16:30
(受付 9:30～)

* 研修室内での飲食は可能です

会場

三重県総合文化センター 生涯学習棟 4階 大研修室
(〒514-0061 津市一身田上津部田1234)

定員

50名 定員になり次第、締め切らせていただきます

参加費

無料

対象者

介護従事者(職種は問いません)

講師

三重県言語聴覚士会会員言語聴覚士

申し込み方法

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScGoCy9UpYGHLCbOjnA7pRMSZwXQfpZaYbFsrwEM12Gm0Bm1w/viewform>

右のQRコードからも申し込み可能です



三重県言語聴覚士会地域包括ケア部: E-mail miegengotiiki@gmail.com

申し込み期限: 平成31年2月7日(水) 締切

研修当日の予定

10:00 ~ 16:30 (予定) 受付 9:30~

摂食嚥下について知識を深め、自分でしてみる評価のポイント

津生協病院 中森 玲子 先生

摂食嚥下障害の基礎知識から評価について学び、リスクへの根拠ある「気づき」ができれば、ということを目指しています。

(休憩)

嚥下調整食やとろみ(増粘食品)の使用について「食べて、飲んで体験しよう」

医療法人碧会 しおりの里 山崎 彰 先生

嚥下調整食やとろみ(増粘食品)を使用する必要性を学び、実際に嚥下調整食やとろみ剤を使用した飲み物を作り飲んで学べる内容を検討しています。

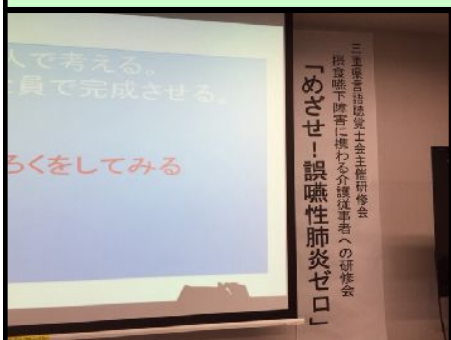
食事姿勢について

済生会 明和病院 吉田 正男 先生

介護の現場でよく目にする不利な座位姿勢が摂食嚥下動作に及ぼす影響を考え、安全に嚥下するために大切な車椅子座位のシーティングについて実技を交えて学んでいきましょう。

* 講師: 三重県言語聴覚士会会員言語聴覚士、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

2017年度 摂食嚥下障害に携わる介護従事者への研修会「めざせ 誤嚥性肺炎ゼロ」の様子



昨年は70名以上の方が参加していただき、色々な方との意見交換もできた研修会でした。

会場案内 三重県総合文化センター



〒514-0061
津市一身田上津部田1234番地
最寄り駅: 津駅
バス
津駅西口ロータリーにバス停あり
総合文化センター行き
夢が丘団地行き(系統番号89)
「総合文化センター前、
総合文化センター」下車



研修会会場 生涯学習棟 4階大研修室